

## 第47回放送文化基金賞を受賞しました (2021/6/30)

テーマ：防災啓発、津波避難、災害伝承

URL：[https://www.hbf.or.jp/awards/article/about\\_awards](https://www.hbf.or.jp/awards/article/about_awards)

当研究所の今村文彦教授・所長（津波工学研究分野）が、令和3年6月30日に「第47回放送文化基金賞」を受賞しました。放送文化基金賞は、【視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた放送番組】、【放送文化、放送技術の分野での顕著な業績】を対象に表彰しています。表彰対象は、①4月1日から翌年の3月31日までに初めて放送された番組②放送文化、放送技術の分野で成果をあげた個人・グループになります。今回は、全国の民放、NHK、ケーブルテレビなどから、全部で257件の応募、推薦がありました。4月から約2か月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞の16番組と、演技賞や企画賞など個人6件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で8件の受賞が決まりました。今村教授は、その中の「【個人・グループ部門】放送文化」での受賞となりました。

今村文彦教授の活動は、「『知識は命を救う』を信条に、長年にわたる放送を通じた防災知識普及と意識向上への多大な貢献」と評価されました。東日本大震災以降の10年間も、多忙を極める中、各放送局の番組に多数出演して精力的に情報発信を続けています。津波が海底の堆積物を巻き込んで破壊力を増す現象を解析した研究成果をNHKで番組化する等、放送を通じて最新の知見を広く紹介。県域FM放送局エフエム仙台（Date fm）では、2003年10月から日曜朝の防災啓発番組のパーソナリティを務め、「地震に自信を」というコーナーを通じて防災・減災に関するさまざまな知識や情報の発信、災害への備えの大切さを毎週呼び掛け続けています。今村教授の長年にわたる活動は、地域の防災力の向上に多大な貢献をしたと高く評価されました。



トロフィー（放送文化 個人・グループ部門）